

平成 19 年度太田市地域新エネルギービジョン策定等事業

～次世代エネルギーパーク構想～

概要版

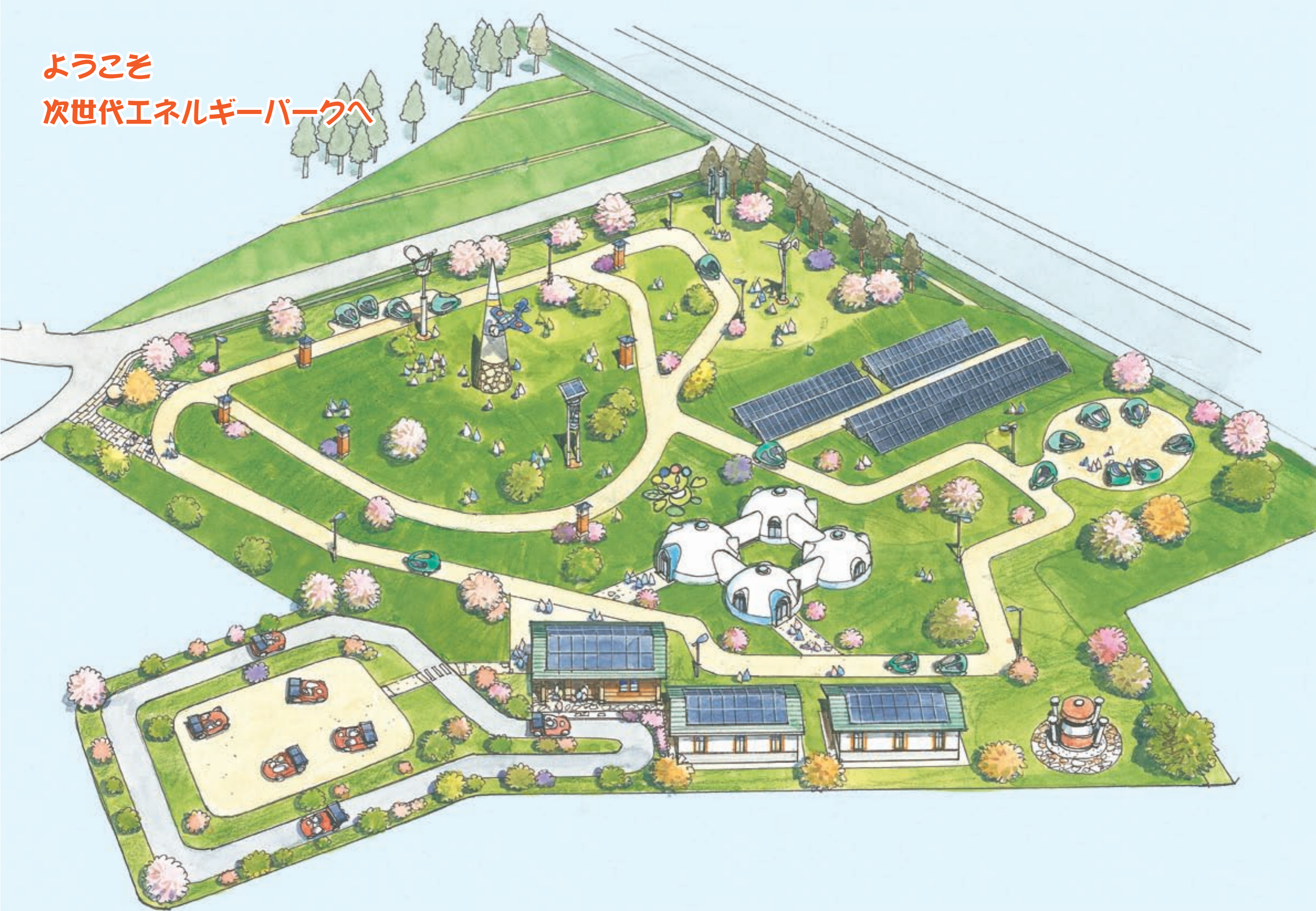
# 地球にやさしい新エネルギーを太田から

～未来の地球と子どもたちのために～

平成 20 年 2 月

太 田 市

ようこそ  
次世代エネルギーパークへ



## 次世代エネルギーパークの考え方

(資源エネルギー庁 平成19年10月「次世代エネルギーパークの推進について」より)

### 【次世代エネルギーパークとは】

- 新エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーについて、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方について、国民の理解の増進を図るため、太陽光等の次世代エネルギー設備や体験施設等を整備した「次世代エネルギーパーク」を推進。
- 地方自治体等を対象に、次世代エネルギーパークとしてふさわしい計画を公募・公表することにより、その整備の更なる推進を図る。

### 「新・国家エネルギー戦略」(2006年5月)における位置づけ

#### iv) 次世代エネルギーパークの整備

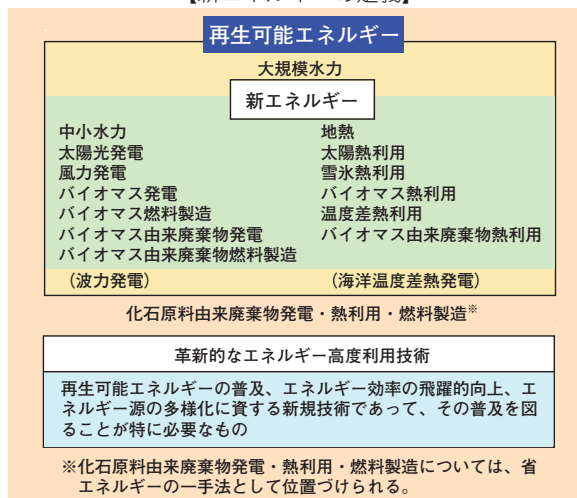
国民が新エネルギーや省エネルギーなど新たなエネルギーの生産・利用に目で見て触れて理解できるよう、次世代エネルギーパークという形でエネルギーの地域拠点を整備する。

※「次世代エネルギーパーク」は、地方自治体が主体的に取り組んでいること、地域の特色を生かした創意工夫がみられること、複数種類の新エネルギー設備が含まれていること等を要件とする。

## 新エネルギーとは

「新エネルギー」とは、自然プロセス由来で絶えず補給される太陽、風力、バイオマス、地熱、水力、海洋資源などから生成される「再生可能エネルギー」のうち、その普及のために支援を必要とするものを差し指す。(出典：資源エネルギー庁「日本のエネルギー2007」)

### 【新エネルギーの定義】



(注)資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会にて、「新エネルギーと再生可能エネルギーの概念整理」と「革新的エネルギー技術開発利用」の2点に関して検討が行われ、報告されました。現在、法改正の作業が行われています。

## 太田市の「新エネルギー」導入の基本方針

I エリア毎(市街地、農村部、工業地帯)の特性を活かした新エネルギーの導入を進め、それらを総合的に結び付けた「次世代エネルギーパーク」の実現を目指します。そこに様々なソフト事業を組み合わせ、太田独自の観光産業も育成します。

II 新エネルギーの導入を新たな技術開発に結びつけ、市内の新エネルギー関連産業の育成を図ります。とりわけ、国内の最先端を走る太陽光発電システムの導入実績をベースとして、世界のソーラーエネルギー都市を目指します。

III 農畜産残さなどの豊富なバイオマス資源を活用して、堆肥化等とのバランスのとれたエネルギー利用を進めます。

IV CO<sub>2</sub>削減効果の高いエネルギーシステムの事業所や家庭への導入をサポートします。

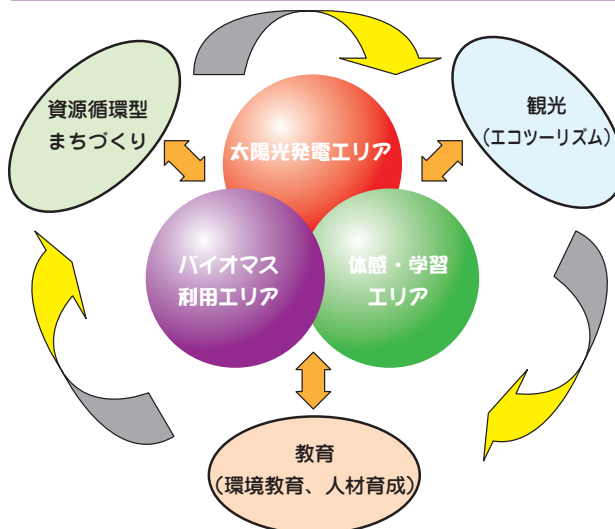
V 新エネルギーを活用して、小中学生への実践的な環境教育を進めます。さらに、高校生や大学生、市民を対象として、新エネルギーの技術や、観光やまちづくりに結びつけるノウハウを学べる機会を提供し、国際的にも活躍できる地域の人材育成を図ります。



- A: バイオマス利用エリア：畜産業が盛んな北西部地域
- B: 太陽光発電エリア：中心市街地からバルタウン城西の杜につながる地域
- C: 体感・学習エリア：金山総合自然公園または八王子山系周辺

※出典：太田市地域新エネルギービジョン調査報告書(太田市、平成19年2月)

## まちごと次世代エネルギーパーク構想



太田市の目指す「まちごと次世代エネルギーパーク構想」は、特定の地域や施設を対象とするテーマパーク的な整備を行おうとするものではありません。

太田市全体を次世代エネルギーのモデル都市と位置づけ、それを具現化するために複数の重点エリアを選んで地域性に即した新エネルギーの導入を図ります。

そして各エリアをさまざまなタイプのクリーンエネルギー自動車やBDFを燃料とする自動車と結び、面としてのエネルギーパーク実現を目指します。

さらにはハード面の整備と平行して、それを市民や国内外からの視察・観光客が体感し、学習できるようなソフトの仕組みの構築も重要な要素と位置づけます。

具体的には、太田市が優位性をもち、あるいは戦略的に導入を進めたいと考えている①太陽光発電と②バイオマス利用、そして③環境教育と観光を視野に入れた複合的な新エネルギーの体感・学習という3つを重点テーマとして、太田市全体として最大の魅力を発揮できるよう施設の整備を行います。

## 次世代エネルギーパーク整備の目的

子どもからお年寄りまで全ての人が、新エネルギー等に見て触れる機会を通じて次世代エネルギーへの理解の増進を図ることを目的とします。

次世代エネルギーパークは「まちごと次世代エネルギーパーク構想」の中心的な役割を担い、「工業のまち太田」とともに「新エネルギーのまち太田」へと飛躍を図るため、エネルギー政策の拠点とします。

## 次世代エネルギーパークの基本方針

### 体験型「環境学習」の推進

子どもから高齢者まで全ての人が、実際に体験し触れ合う体験型学習を重視します。

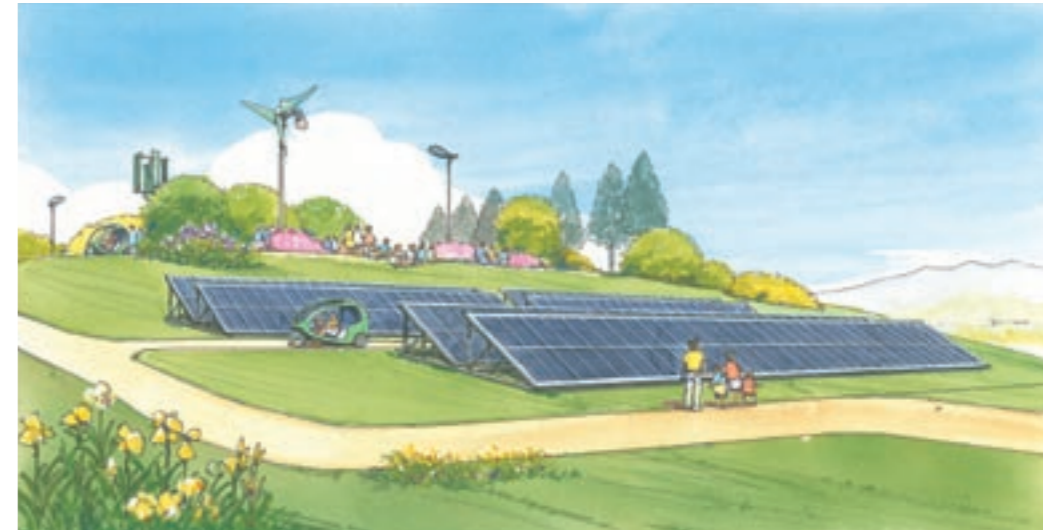
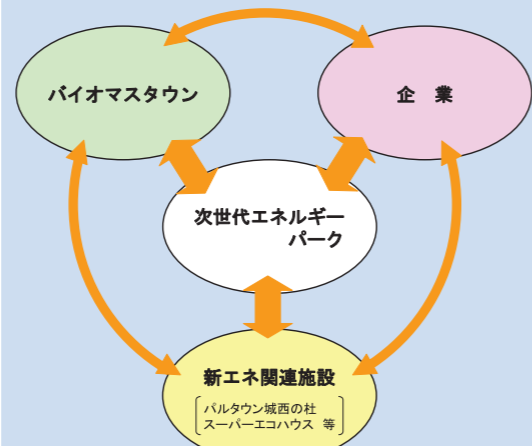
### 市内新エネ関連施設のネットワーク化

次世代エネルギーパークを拠点に、企業や新エネ関連施設との連携・役割分担を図ります。

### 次世代エネルギー情報の発信

最新設備を紹介するとともに、市内企業を含めた市全体の「新エネ・省エネ」の取組を全国に発信します。

【市内新エネ関連施設・企業との連携イメージ図】



### ●環境学習の対象

区分	学校行事としての学習	生涯学習	企業視察・行政視察	産業観光	エコツアー	レジャー
子ども（小中学生）	○				○	○
若者（高校生、大学生）		○		○	○	○
勤労世代		○	○	○	○	○
高齢者		○		○	○	○
家族・親子			○	○	○	○
海外来訪者（観光客等）			○	○	○	○

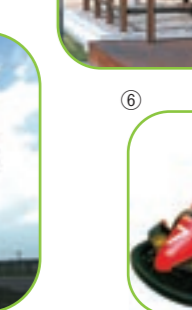
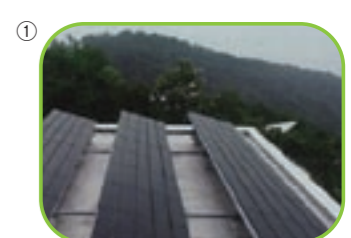
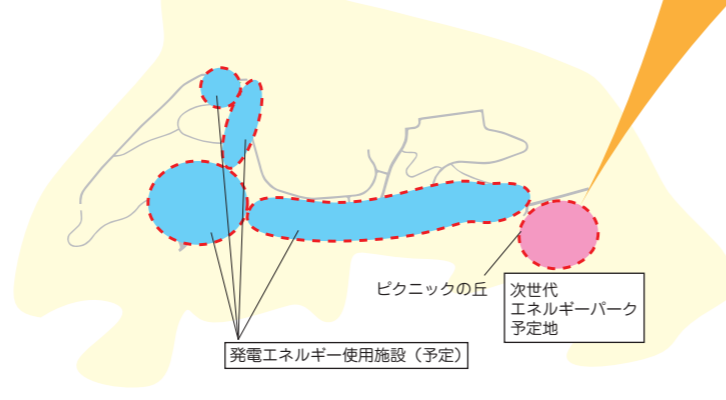
### ●ソフト事業（一例）

次世代エネルギーパーク内ソフト事業	新エネ関連施設を含めたソフト事業	その他のソフト事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>新エネ設備見学</li> <li>新エネ体験ツアー</li> <li>夜間新エネ体験ツアー</li> <li>ソーラークッカー体験</li> <li>新エネ・省エネ導入相談会</li> <li>新エネ体験工作教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新エネのまち おおたエコツアー」</li> <li>「新エネと歴史のまち おおた一周ツアー」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーラーモニュメント公募</li> <li>ぐんまこどもの国へ情報盤の設置</li> <li>次世代エネルギーパーク PR 盤の設置</li> <li>インターネット閲覧システム</li> <li>次世代エネルギーパーク紹介冊子の作成</li> </ul>

### ●整備計画

区分	スケジュール				
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
基本構想・申請	構想書策定	申請・採択			オープン
施設整備		実施設計	造成・園内工事 各種施設・設備導入工事	建築・付帯工事	
ソフト事業整備			事業詳細決定	係員研修及び関係機関調整	実施・改善
運営管理			管理方法等詳細決定	係員研修及び関係機関調整 開場準備・PR	

北部運動公園全体図



# 太田市の取り組み

## 積極的な太陽光発電システムの導入

### 主な太陽光発電システム導入施設

施設名	出力
市役所	30kw
沢野中央小学校	10kw
保健センター	10kw
リサイクルプラザ	6kw
スーパーエコハウス	4.5kw
宝泉行政センター	10kw
綿打中学校	40kw
第一老人福祉センター	10kw
藪塚本町総合支所	10kw



市役所



綿打中学校

### 太陽光発電システム導入奨励金の支給

太田市は、平成 13 年度より太陽光発電システム導入促進事業を積極的に推進しており、奨励金を支給してきました。その結果、支給件数は毎年増加し、平成 18 年度の支給件数は 384 件となり、平成 13 年から平成 18 年度までの総支給件数は 665 件となっています。

### ●奨励金の支給状況

区分	支給件数	出力合計 (kw)	CO <sub>2</sub> 削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
平成13年度	1	3.00	1.10
平成14年度	13	44.53	16.39
平成15年度	31	121.33	4.65
経過措置分	13	49.53	18.23
平成16年度	58	231.30	87.43
平成17年度	165	643.73	243.33
平成18年度	384	1,368.31	503.54
合計	665	2,461.73	874.67

### Pal Town 城西の杜

「NEDOによる集中連系型太陽光発電システム実証研究」に参加し、553戸に太陽光発電システムを設置した世界最大規模の太陽光発電住宅団地となっています。



Pal Town 城西の杜

### ●Pal Town 城西の杜の太陽光発電システム導入状況

設置件数	出力合計 (kw)	CO <sub>2</sub> 削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
553	2,129.00	783.47

## 省エネ事業の実践

### 太田まほろば事業

環境省の補助事業である「環境と経済の好循環のまちモデル事業（まほろば事業）」の採択を受け、地球温暖化対策として CO<sub>2</sub> 排出削減に取り組み、年間約 1,000 t の CO<sub>2</sub> 削減と、約 3,500 万円の経費削減をしました。

平成 16 年度改修施設	平成 17 年度改修施設	平成 18 年度改修施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃センター管理棟</li> <li>総合健康センター</li> <li>保健センター</li> <li>学習文化センター</li> <li>スーパーエコハウス（新設）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所本庁舎</li> <li>新田総合支所</li> <li>尾島総合支所</li> <li>藪塚本町文化ホール・図書館</li> <li>休泊行政センター</li> <li>小中学校 5 校（都市ガス区域内）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者総合福祉センター</li> <li>藪塚本町介護老人保健施設</li> <li>新田図書館</li> <li>浄水場取水ポンプ</li> </ul>



スーパーエコハウス

### 「環境基本計画」の策定（平成18年度）

「地球のみらいを太田から」を基本理念に市民・事業者・行政それぞれの社会経済活動における環境保全・環境美化への取り組み行動指針を示しました。

#### 環境みらい像

- 地球環境の保全
- 循環型社会の構築
- みどりの保全と創造
- 環境教育・学習の推進
- 成果の検証と改善

### 太田市地域新エネルギービジョンの策定（平成18年度）

新エネルギーを取り巻く情勢や太田市の地域特性・エネルギー消費構造・新エネルギー賦損量の調査分析を行い、新エネルギー導入の基本方針を定めました。重点プロジェクトとして

#### 「まちごと次世代エネルギーパーク構想」

を提唱しました。

あなたも

地球にやさしい「新エネルギー」を

見て・触れて・体験してみませんか。



太田市マスコットキャラクター  
『おあたん』

### 太田市地域新エネルギービジョン策定等事業 ～次世代エネルギーパーク構想～(概要版)

太田市環境政策課

〒373-8718 群馬県太田市浜町2番35号

TEL 0276-47-1111 (代表) <http://www.city.ota.gunma.jp/>

本調査は、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構の平成19年度「地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定等事業」の補助により実施しました。

